

6年生 総合的な学習の時間 単元の構想表

テーマ【 命の大切さから自分の生き方へ 】

1, 単元名【 平和と命のバトンをつないでいこう 】

2, 単元目標 戦争や平和に関わる遺構や情報を見聞する体験活動を取り入れた探究的な学習を通して、これまでの平和の大切さを理解するとともに、目的や効果を考えて思考ツール等を用いたり、他教科の学習とも関連付けて情報発信をしたりする力を高め、学習したことを自分たちの学校生活に生かそうとする態度を育てる。

3, 育てたい資質・能力 (※課=課題設定 情=情報収集 整=情報整理・分析 ま=考察と表現)

知識・技能	・戦争遺構や被爆者体験の思いを見聞し、戦争の悲惨さや平和の大切さを理解する。・目的に応じて情報収集し、効果的に思考ツール等を用いて情報活用を図ることができる。
思考・判断・表現	課：これまでの平和学習と体験を結びつけながら、課題設定や計画を立てる。 情：見聞で得た情報や必要に応じて集めた資料を取捨選択したり、蓄積したりする。 整：目的に応じて情報を整理し、他の情報と関連付けるなど多角的に考える。 ま：相手や目的に応じて考えの根拠をもって効果的にまとめたり、表現したりする。
学びに向かう力	・異なる意見や友だちの考えを受け入れ、多角的な視点から学ぼうとする。 ・学んだことを学校生活と関連付けて、自分ができることを考えて実行しようとする。

4, 単元計画

時期	4～7月	8～12月	1～3月
小単元	「戦争から平和を学ぼう」	「つなげよう！平和と命のバトン」	「残そう！私たちの足跡」
活動の構成	【導入】1年生から学んできた戦争や平和に関わる学習を振り返ったり共有したりする。	【整理・分析】伝えるべき内容を整理し、分担する。	【課題設定】卒業に向けて、自分たちの足跡を残し、よりよい学校にしよう。
	【課題設定】修学旅行で行く長崎は、原爆を受けたことは知っているが、どんな様子だったり、現在はどんなものが残っていたりするのかわかる。調べてみよう。	【まとめ・表現】必要な写真や情報を、ICTを利用してプレゼンテーションする。	【情報収集】よりよい学校に向けて、自分たちができることを考える。(アンケート、イメージマップ等)
	【情報収集】旅行前にインターネットや図書室の本や雑誌で調べ、しおりにチェックする。旅行に行き、現地の遺構や歴史を見聞する。	【振り返り】広島、長崎だけでなく、沖縄も大変な時代があった。この中津や三光はどうだったのか。	【整理・分析】自分たちができることを吟味し、それによって実行委員を組織し、具体案を提案する。
	【整理・分析】修学旅行での学習から、必要な情報を取捨選択する。(ランキング等)	【課題設定】地元三光に残る戦争の出来事を知り、平和について考えよう。	【まとめ・表現】実行委員の計画に基づき、「よりよい学校」づくりを実施する。実施後にアンケート調査と評価。卒業式で自分たちの足跡を伝える。
	【まとめ・表現】自分たちで学習したことを「平和新聞」に書き、みんなに読んでもらう。	【情報収集】祖父母や地域の方々に対する聞き取りやGTを招いて話を聞く。八面山平和公園の見学を行う。	【振り返り】自分は、6年間で成長した。命を大切にしたい。よりよい生活に向けて中学校でも学んだことを生かしていく。
	【振り返り】8月6日には平和学習があるので、新聞だけでなく、より分かりやすく伝えられないか。	【整理・分析】集まった情報を、視点を決めて整理する。(史実 体験談 願い 資料)	
	【課題設定】全校のみんなに平和について知ってもらおう。	【まとめ・表現】これまで学習したことや考えたことを、平和宣言にまとめてみんなに発表する。(文化祭)	
	【振り返り】自分たちにできるバトン渡して何だろう。平和学習で学んだことを学校で生かせないか。		
地域素材	祖父母 地域の方 長崎原爆史料館等	祖父母 地域の方 八面山平和公園 GT 三光文化協会	
教科等	国語「ようこそ、私たちの町へ」 社会「武士の時代」 行事「修学旅行」	国語「未来がよりよくあるために」 社会「戦争の時代から平和の時代へ」	国語「忘れられない言葉」 道徳 家庭科「わたしの気持ちを伝えよう」 体育「ボールゲーム」